特定非営利法人 神奈川脊椎研究協会

KSRS Webセミナー

Kanagawa Spine Research Society Web seminar

日時 2024年3月21日(木) 19:00～20:00

会場 ZOOMによるWebセミナーです

登録用URL https://kyocera.zoom.us/webinar/register/WN_txZ7JVhSQhqys8oIEcDkUw

参加費 無　料

座長① 東海大学医学部 外科学系 整形外科学 准教授
檜山 明彦 先生



テーマ

後方アプローチ腰椎椎体間固定術で前弯形成を獲得するための工夫



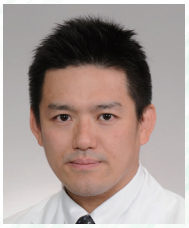
演者 東海大学医学部付属八王子病院 整形外科 講師
長井 敏洋 先生

座長② 昭和大学藤が丘病院 整形外科 教授
神崎 浩二 先生



テーマ

Bertolotti 症候群の臨床像



演者 関東労災病院 整形外科・脊椎外科
小口 史彦 先生

京セラ株式会社 メディカル事業部
〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地
https://www.kyocera.co.jp/prdct/medical/

©2022 KYOCERA Corporation

後方アプローチ腰椎椎体間固定術で前弯形成を獲得するための工夫

東海大学医学部付属八王子病院　整形外科
講師
長井 敏洋

脊椎矢状面アライメントが注目される中、われわれは固定を要する腰椎変性疾患に対して前弯形成も意識したPLIFを施行してきた。その手術方法は、両側椎間関節を全切除し、徹底した椎間郭清による椎間板の亜全摘、そして移植骨と伴にケージを可能な限り椎間前方に設置する最も基本的な手術手技である。そのような手技と同様にケージの種類や形状そしてスクリューなど、使用するimplant選択も前弯を獲得し維持する上で重要である。本講演では実際の症例を提示しながら基本的な前弯形成を意識したPLIF手技の紹介をする。

Bertolotti 症候群の臨床像

関東労災病院
整形外科・脊椎外科
小口 史彦

かつて放射線科医Bertolottiは、腰仙椎間の偽関節部が腰痛と関連することを報告。このBertolotti症候群は腰痛のみならず、神経根障害も呈することが知られています。潜在的な患者数が多いにも拘らず、その認知度は低く疾患名を知らない若手も多いため、時に見逃され、診断や治療に難渋する厄介な疾患です。

Bertolotti症候群がはじめて報告されてから1世紀が経ちます。近年腰仙椎間固定手技の発展が目覚ましい中、改めてBertolotti症候群の診断と治療に関して当科での経験を踏まえ検討し報告させて頂きます。

視聴方法

❶下記URLまたはQRコードから事前登録を
完了いただくと視聴用URLが届きます。

❷当日は視聴用URLよりアクセスをお願いいたします。

登録用URL　https://kyocera.zoom.us/webinar/register/WN_txZ7JVhSQhqys8oIEcDkUw